

安心・安全な京都づくりを支える 治水・土砂災害対策の推進について

【担当省庁：国土交通省】

1 直轄河川の治水対策の促進

直轄河川の治水対策を強力に促進していただきたい。

① 淀川水系及び由良川水系河川整備計画に基づく治水対策

- 平成25年台風18号で浸水被害が発生した桂川及び由良川の緊急治水対策（今後、平成31年度まで所要額約167億円を予定）

特に桂川（嵐山地区）については緊急治水対策の早期完成及び抜本的な改修計画の早期とりまとめ

- 宇治川の塔の島地区の改修、天ヶ瀬ダム再開発事業、堂の川（木幡池）の大島排水樋門の改築

特に、計画変更によって事業費が160億円増額された天ヶ瀬ダム再開発事業の一層のコスト縮減、工期短縮

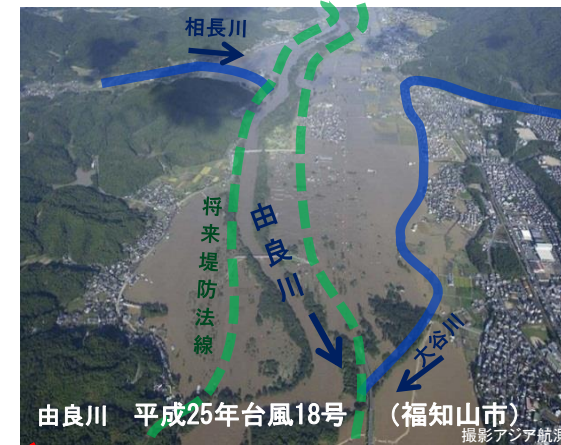
- 木津川の堤防強化、川上ダム建設事業の推進

② 平成26年8月豪雨で浸水被害が発生した由良川の床上浸水対策特別緊急事業（平成27年度から5年間で国・府・市で協調して進めるとした約62億円のうち、平成30年度以降の残事業費約38億円）の予算額の確保

③ 木津川下流域や由良川等における「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づき洪水を安全に流す対策（堤防の嵩上げ、浸透対策等）や粘り強い構造の堤防整備（堤防天端の保護、堤防裏法尻の補強等）等の推進

京都府の担当課 環境部 水環境対策課 (075-414-5470)
建設交通部 河川課 (075-414-5282)

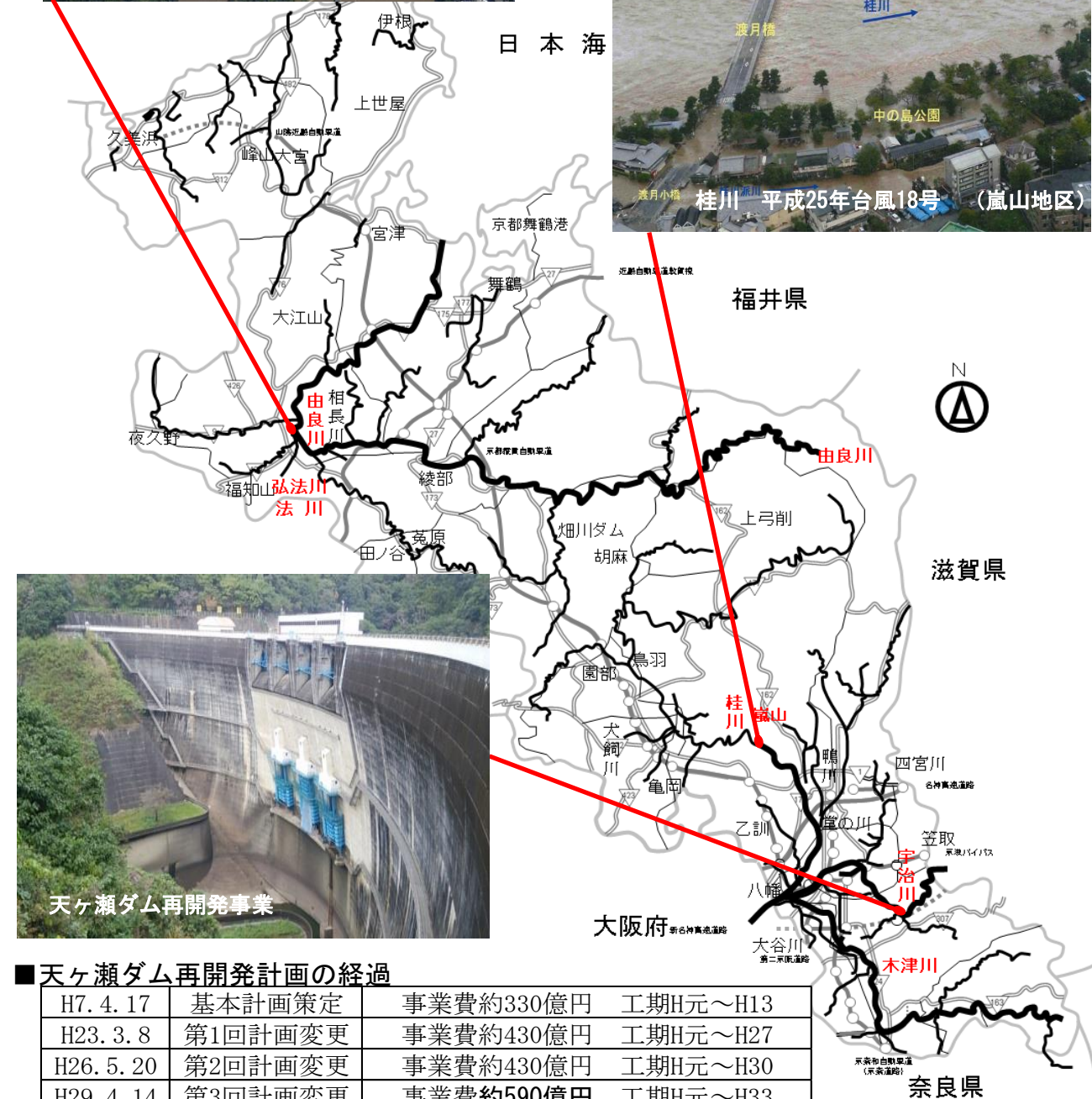
■ 主な直轄河川の実施箇所



※今後の治水対策必要額 (単位：百万円)

	桂川	由良川	合計
事業費	17,000	43,000	60,000
施工済	13,909	29,396	43,305
必要額	3,091	13,604	16,695
(H29)	2,689	7,557	10,246

平成25年の浸水被害



■ 天ヶ瀬ダム再開発計画の経過

H7. 4. 17	基本計画策定	事業費約330億円	工期H元～H13
H23. 3. 8	第1回計画変更	事業費約430億円	工期H元～H27
H26. 5. 20	第2回計画変更	事業費約430億円	工期H元～H30
H29. 4. 14	第3回計画変更	事業費約590億円	工期H元～H33

2 府管理河川の治水事業予算の増額確保

府管理河川の治水対策を強力に推進するための支援をしていただきたい。

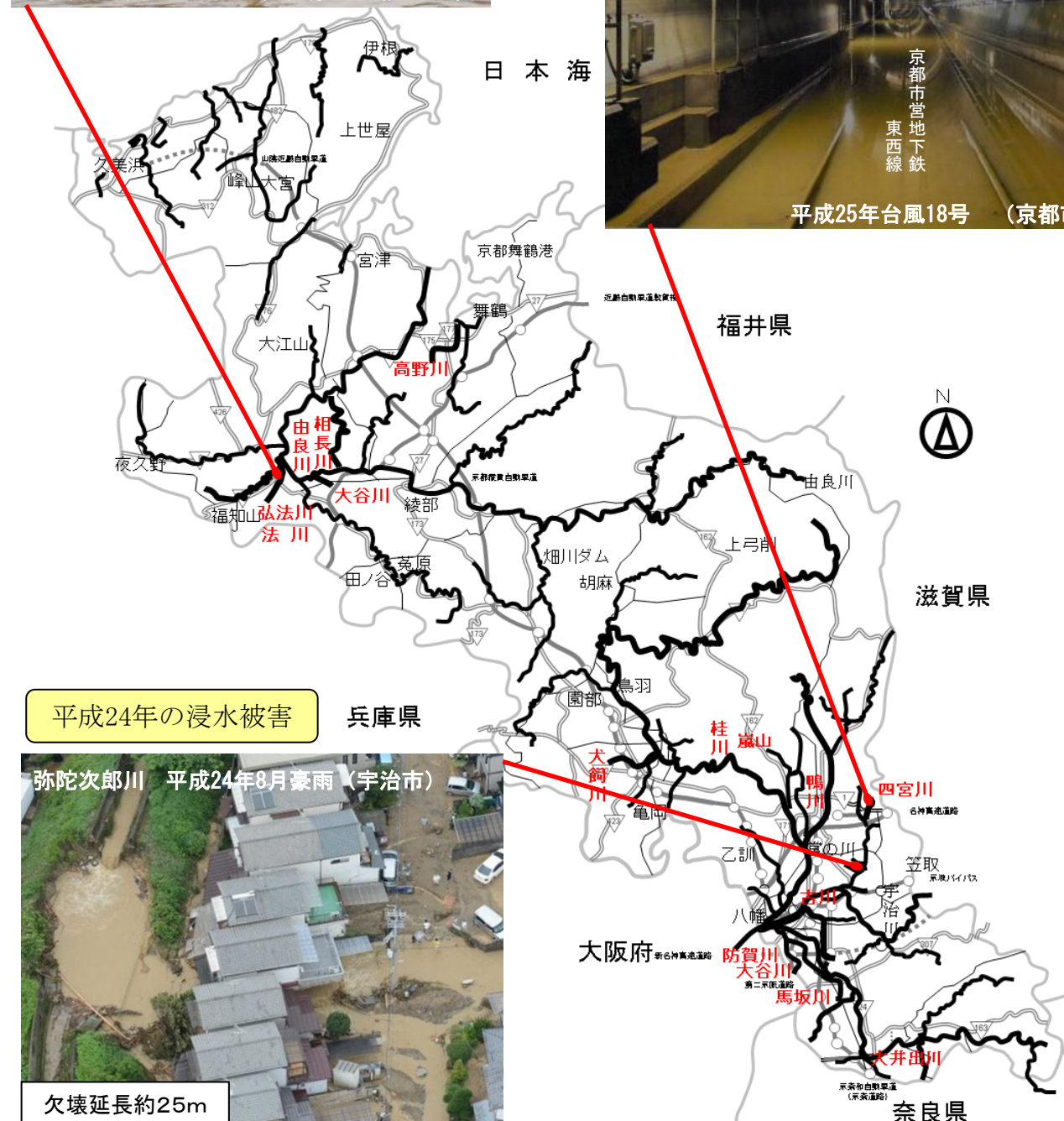
- ① 平成16年台風23号及び、平成25年台風18号で浸水被害が発生した高野川の河道掘削、護岸整備等（全体事業費約35億円）の**新規事業着手**
- ② 府管理河川の古川、弘法川、法川の河道拡幅、護岸整備等（平成30年度の予定事業費約31億円）の「**床上浸水対策特別緊急事業**」
- ③ 府管理河川の改修を推進するための「**防災・安全交付金**」（平成30年度の予定事業費約32億円）
 - ・ 京都市と協調して進めている四宮川・安祥寺川等の河道拡幅、河道掘削、護岸整備、水路トンネル
 - ・ 鴨川、桂川、大谷川、相長川等の河道拡幅、河道掘削、護岸整備
 - ・ 防賀川や馬坂川等の天井川切り下げ及び護岸補強、水路橋耐震対策
 - ・ 大井手川、犬飼川等の河道拡幅、護岸整備と橋梁改築

■京都府の近年の浸水被害状況

平成26年の浸水被害



平成25年の浸水被害



3 安心・安全対策にかかる予算の増額確保

府民の生命を守るため、土砂災害対策に係るハード・ソフト一体となった安心・安全対策を推進する「**防災・安全交付金**」を増額確保していただきたい。（平成30年度の予定事業費約28億円）

4 市街地における下水道浸水対策事業の安定的な財源確保

- 平成25年度から平成35年度までの間で整備を予定しているいろは呑龍トンネルは、総事業費で約200億円、残事業も約140億円となっている。

床上・床下浸水被害を食い止めるため、**計画的な整備に向け、必要な防災・安全交付金（平成30年度の予定事業費約24億円）を確保願いたい。**

- 京都府の都市浸水対策達成率は全国平均を下回っており、**福知山市や舞鶴市などの雨水対策に対し、必要な防災・安全交付金（平成30年度の予定事業費約43億円）を確保願いたい。**

- ・ 京都府では、**平成24、25、26年と3年連続で甚大な都市浸水被害**が発生
- ・ 福知山市、舞鶴市、宇治市、綾部市、八幡市、大山崎町など雨水対策事業に順次着手しているが**都市浸水対策達成率は低い**
- ・ 洪水、内水など複合的な要因による浸水被害が発生している福知山市、舞鶴市では、**総合的な治水対策として、国、府、市など関係機関がそれぞれの役割分担のもと効果的で効率的な対策を推進**

■ 防災・安全交付金（砂防）（単位：百万円）

	所要額	交付額	合計
H29	2,423	2,170	90%
H30	2,833	—	—

■ 土砂災害危険箇所の整備状況

要対策の土砂災害危険箇所が約3,100箇所存在。
全ての箇所をハード対策で安全にする場合、約1兆円、約300年が必要。

区分	土砂災害危険箇所				整備率
		要対策箇所（※）			
			対策済み	未対策	
土石流危険渓流	5,024	2,328	373	1,955	16.0%
地すべり危険箇所	58	58	20	38	34.5%
急傾斜地崩壊危険箇所	3,765	1,339	255	1,084	19.0%
計	8,847	3,725	648	3,077	17.4%

※人家5戸以上等

平成29年4月1日現在

■ 南幹線早期整備の必要性

京都府では、平成25年台風第18号と平成26年台風11号において、供用中の北幹線が100%貯留したものの、床上・床下浸水被害が生じたことから、南幹線の早期の整備が必要。

平成32年度供用開始	シールドトンネル 呑龍ポンプ場 公共下水道接続施設	4,260m 10m ³ /s 2箇所
平成35年度事業完成	調整池 公共下水道接続施設	1池 ②～⑤

■ 都市浸水対策達成率（平成26年度末）

京都府（京都市除く）	全国
42.0%	56.0%

公共下水道又は都市下水路による都市浸水対策の整備対象地域の面積のうち、概ね5年に1度の大雨に対して安全であるよう、既に整備が完了している区域の面積の割合

■ 防災・安全交付金（雨水対策関連）（単位：百万円）

	所要額	交付額	合計
H29	4,972	4,619	93%
H30	6,787	—	—

■ 近年の都市浸水被害

	H24年度		H25年度		H26年度		3カ年合計		
	床上	床下	床上	床下	床上	床下	床上	床下	合計
福知山市			690	279	1,995	2,430	2,685	2,709	5,394
舞鶴市			130	191		17	130	208	338
綾部市			16	58	2	1	18	59	77
宇治市	600	1,448	18	29	1	32	619	1,509	2,128
亀岡市	20	98	101	178	1		122	276	398
城陽市	53	600		20		7	53	627	680
向日市			4	102	2		6	102	108
八幡市	28	280	30	856		4	58	1,140	1,198
南丹市			103	107			103	107	210
大山崎町	9	16					9	16	25
その他	27	96	30	74			57	170	227
合計	737	2,538	1,122	1,894	2,001	2,491	3,860	6,923	10,783